

所 属	観光国際部観光国際政策課			令和 7 年度担当所属名
係 名	サステイナブル・ツーリズム推進係	内線	3915	観光文化スポーツ部観光文化スポーツ政策課
所 属	観光国際部観光誘客推進課			令和 7 年度担当所属名
係 名	海外誘客係	内線	3955	観光文化スポーツ部観光誘客推進課

世界に選ばれる持続可能な観光の全県拡大と周遊化

1 事業費 129,548（前年度 55,548）

【財源内訳】

国庫	42,616
一般財源	86,932

【主な使途】

補助金	85,000
委託料	39,951

2 背景・事業目的

世界に選ばれる持続可能な観光を全県へと拡大し、周遊化を図るため、国際認証取得に向けた地域の観光地づくりを支援するとともに、本県のサステイナブル・ツーリズムの魅力発信を強化するほか、観光客を受け入れる観光事業者の人材確保に向けた取組みを支援する。

3 事業概要

新（1）世界レベルの観光地づくりへの支援（75,000 千円）

持続可能な観光の国際認証取得や、「岐阜未来遺産」※認定に向け、魅力向上、受入環境整備、オーバーツーリズム対策など、地域が一体となって取り組む観光地づくりを支援する。

[補助率：10/10、2/3、1/2 以内、補助限度額：30,000 千円等]

※サステイナブル・ツーリズムの国際指標を取り入れた県独自の基準により認定する観光プログラム。

（2）持続可能な観光の普及・啓発（2,052 千円）

持続可能な観光の国際認証取得に向けた意識醸成や理解を深めるための人材育成セミナーを新たに開催するほか、オーバーツーリズム対策等の先進事例を共有する市町村会議を開催する。

（3）岐阜県版サステイナブル・ツーリズムの発信強化（41,496 千円）

欧米豪市場を中心に、本県の強みである自然・伝統・文化・匠の技の魅力を生かした「岐阜県版サステイナブル・ツーリズム」を世界へ広く発信し、本県への誘客につなげる。

（4）人材確保に向けた観光事業者等の魅力発信支援（11,000 千円）

- 観光学科を有する大学等と連携し、学生に対して県内観光事業者に関する情報提供、出前講座、企業説明会の機会の充実を図る。

新・ 仕事内容や職場の雰囲気、地域で働く魅力などを学生等へ PR するための動画作成に要する費用の一部を支援する。

[補助率：1/2 以内、補助限度額：500 千円]

(款) 7 商工費	(項) 2 観光費	(目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○観光対策費	飛騨・美濃じまん推進費	
(款) 7 商工費	(項) 2 観光費	(目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○観光対策費	観光開発促進費	

所 属	観光国際部観光資源活用課			令和7年度担当所属名
係 名	観光コンテンツ係	内線	3932	観光文化スポーツ部観光資源活用課
所 属	観光国際部観光誘客推進課			令和7年度担当所属名
係 名	海外誘客係	内線	3955	観光文化スポーツ部観光誘客推進課

「稼ぐ」観光地域づくりの推進

1 事業費 108,840（前年度 90,975）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫 39,668 委託料 81,602

使用料及び手数料 53 補助金 10,000

一般財源 69,119

2 背景・事業目的

持続可能な観光を実現するためには、地域が「稼ぐ」視点を持ち、観光消費の拡大に向けて取り組む必要がある。

そのため、地域と一体となって、本県独自の魅力的な地域資源を活用した周遊・滞在観光の促進に取り組むほか、高付加価値な体験コンテンツの充実を図る。

3 事業概要

新（1）木曽三川サイクルツーリズムの推進（12,337 千円）

サイクリングルート沿線の立ち寄りスポット（休憩施設や小売店舗など）を掲載したマップやウェブサイトを作成するとともに、サイクリングイベントの開催やサイクリング展示会への出展等による誘客プロモーションを実施する。

（2）木曽川中流域観光振興の推進（30,000 千円）

「木曽川ならではの川下りの復活」に向けた実証実験や流域の賑わいづくりに取り組むとともに、流域市町等による地域資源を活用した周遊促進・消費拡大に向けた取組みを支援する。

[補助率：1/2 以内、補助限度額：5,000 千円]

新（3）中山道を活用した周遊滞在の促進（6,494 千円）

観光客が集中する妻籠宿・馬籠宿以西の宿場町への誘客を促進するため、観光客へのヒアリング調査による市場分析を実施するとともに、各種メディアを活用したプロモーション強化や、ウェブルートマップへの沿道観光・立ち寄り情報の充実を図る。

（4）高付加価値着地型体験コンテンツの充実（60,009 千円）

インバウンドの観光消費拡大を図るため、世界に誇る遺産等の観光資源を活用した高付加価値な旅行商品を造成するとともに、世界の旅行博・商談会においてプロモーションを実施する。

（款）7 商工費 （項）2 観光費 （目）(2) 観光開発費
（明細書事業名）○観光対策費 飛騨・美濃じまん推進費

所 属	観光国際部観光国際政策課			令和7年度担当所属名
係 名	サステイナブル・ツーリズム推進係	内線	3915	観光文化スポーツ部観光文化スポーツ政策課
所 属	観光国際部観光誘客推進課			令和7年度担当所属名
係 名	国内誘客係、海外誘客係、誘客政策係	内線	3955	観光文化スポーツ部観光誘客推進課

国内外からの観光誘客の全県展開

1 事業費 206,598（前年度 213,398）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫 139,900 補助金 120,000

一般財源 66,698 委託料 76,830

2 背景・事業目的

本県のインバウンド（外国人延べ宿泊者数）は、令和6年に過去最高を更新し、日本人も含む観光入込客数も着実に回復に向かっている一方で、一部地域への偏りもみられる。

このため、県全域への誘客促進に向け、県内で「もう一泊」を促す旅行商品の造成・販売に取り組むほか、デジタルマーケティングも駆使しながら、誘客プロモーションの強化を図る。

3 事業概要

（1）県全域へのインバウンド誘客（38,098千円）

ランドオペレーター※と連携し、人気の飛騨高山や白川郷に加え、県内で「もう一泊」を促す旅行商品の造成・販売を進めるとともに、航空会社や空港のほか、関西圏、中部圏の関係機関と連携した誘客プロモーションを実施する。

※海外の現地旅行会社の依頼を受け、日本のホテルやバスなどの手配・予約を行う会社。

（2）中部山岳国立公園南部地域への誘客プロモーション（10,000千円）

世界水準の旅先を目指す「松本高山 Big Bridge 構想」を推進するため、奥飛騨温泉郷や乗鞍岳などの中部山岳国立公園南部地域の魅力を国内外に発信するなど、誘客プロモーションを実施する。

（3）電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」による観光誘客・消費拡大

（120,000千円）

宿泊利用限定の「ぎふ旅コイン」の販売や、交通事業者の県内旅行プランへの「ぎふ旅コイン」クーポンの付与などにより、更なる観光誘客と観光消費拡大を促進する。

（4）世界レベルのデジタルマーケティングの推進（38,500千円）

県観光ウェブサイトへのアクセス状況から国ごとの旅行者の嗜好を分析・検証し、旅行博やウェブサイト、SNS、オンライン広告等により本県観光情報を国内外へ効果的・効率的に発信する。

（款）7 商工費 （項）2 観光費 （目）(2) 観光開発費
（明細書事業名）○観光対策費 飛騨・美濃じまん推進費

所 属	観光国際部観光資源活用課			令和7年度担当所属名
係 名	広域連携係	内線	3932	観光文化スポーツ部観光資源活用課
所 属	観光国際部観光誘客推進課			令和7年度担当所属名
係 名	国内誘客係、海外誘客係	内線	3959、3955	観光文化スポーツ部観光誘客推進課

交通ネットワーク拡大を見据えたプロモーションの展開

- 1 事業費 36,926（前年度 38,676）
【財源内訳】 【主な使途】
一般財源 36,926 委託料 36,224

2 背景・事業目的

今後、東海環状自動車道や中部縦貫自動車道の開通により、関西や北陸をはじめ、全国各地から本県へのアクセスは格段に向上することが見込まれている。

これを観光誘客につなげるため、関西主要駅などにおいて本県の魅力をPRするほか、空港や駅を発着地とするツアーや、高速道路乗り放題プランを造成するとともに、近隣県と連携して、広域周遊観光を推進する。

3 事業概要

新（1）大阪・関西万博の来訪者へ向けた観光PRの実施（5,430千円）

大阪・関西万博を訪れる国内外の観光客に対して、次の旅先として選ばれるよう、関西主要駅構内や電車内での交通広告を活用した観光PRを実施する。

（2）国際空港や駅を発着地とするツアー造成とプロモーションの展開 （26,296千円）【一部再掲】

関西国際空港やセントレア、JR岐阜羽島駅等を発着地とするツアーを造成するとともに、公共交通機関や航空会社等と連携してメディアの招請や旅行博等でのプロモーションを実施する。

（3）県内周遊ドライブキャンペーンの実施（2,200千円）

NEXCO中日本と連携し、東海、北陸、関西の近隣県も発着地とする県内高速道路乗り放題プランを造成・販売する。

（4）岐阜・福井・滋賀周遊観光の推進（3,000千円）

東海環状自動車道や中部縦貫自動車道の開通による新たな「広域観光ループ」の誕生を見据え、福井県・滋賀県と連携し、戦国・武将観光など、各県に跨る観光資源を活用した相互誘客及び広域周遊観光を推進する。

（款）7 商工費 （項）2 観光費 （目）(2) 観光開発費
（明細書事業名）○観光対策費 飛騨・美濃じまん推進費

所 属	観光国際部観光資源活用課			令和7年度担当所属名
係 名	活用推進係	内線	3935	観光文化スポーツ部観光資源活用課
所 属	観光国際部国際交流課			令和7年度担当所属名
係 名	国際連携係、国際交流係	内線	3971、3974	観光文化スポーツ部国際交流課

大阪・関西万博を契機とした国際交流の更なる深化

1 事業費 58,623（前年度 30,718）

【財源内訳】

【主な使途】

国庫 12,120

委託料 55,463

一般財源 46,503

2 背景・事業目的

『清流の国ぎふ』文化祭2024」に続き、20年ぶりに国内で開催される万博という貴重な国際交流の機会を捉え、これまで本県が長年にわたり関係を構築してきた国・地域との「万博国際交流プログラム」を通じて、交流の更なる深化を図る。

3 事業概要

新 (1) 世界三大古戦場連携の推進（24,240 千円）

世界古戦場サミット開催から10周年の節目に、世界三大古戦場連携を更に推進するため、アメリカ・ゲティスバーグ、ベルギー・ワーテルロー、関ヶ原の各古戦場関係者を関ヶ原古戦場へ招き、「世界三大古戦場サミット」を開催する。

(2) 欧州各国との国際交流の深化

新 ・ポーランド・シロンスク県との交流イベントの開催（7,762 千円）

シロンスク県との更なる交流の深化を図るため、万博に参加するシロンスク県と連携し、同県の魅力を紹介するイベントやパネル展等を県内で開催する。

・リトアニアとの交流イベントの開催（26,621 千円）

杉原千畝の功績やリトアニア文化の魅力を発信し、両国の更なる交流の深化を図るため、万博に参加するリトアニア関係者を本県へ招き、今年で8回目となる「リトアニアNOW」を開催する。

(款) 7 商工費 (項) 2 観光費 (目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○観光対策費 飛騨・美濃じまん推進費

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (6) 国際化推進費
(明細書事業名) ○国際交流費 国際交流協力推進事業費